

病害虫防除技術情報第7号

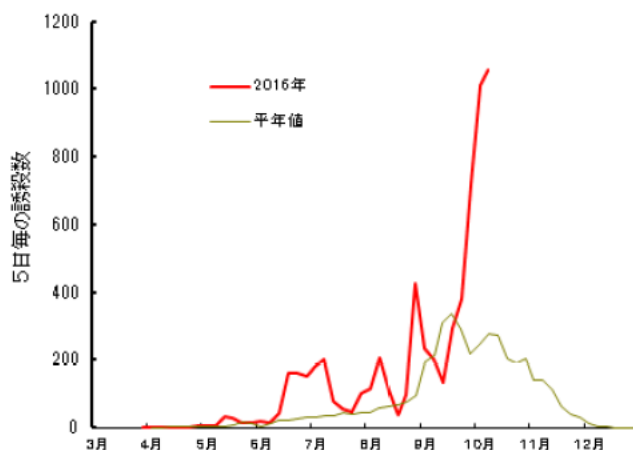
平成28年10月11日

三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウの発生は、依然多い状況が続いています。

1. 対象作物：野菜類及び花き類
2. 対象病害虫名：ハスモンヨトウ
3. 発生地域：県内全域
4. 発生程度：多い
5. 発生状況

1) 県予察圃（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数（9月第6半旬～10月第2半旬）は、2,787頭（平年737.9頭）と多い状況で（図）、今後、圃場での幼虫発生量が増加すると予想されます。



フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
（調査場所：松阪市嬉野川北町）

2) 巡回調査圃場（10月第2週）では、キャベツで寄生株率7.4%（平年4.4%）、被害葉率4.2%（平年1.0%）と平年に比べて多い状況です。



6. 防除対策

- 1) 幼虫の発生量は圃場によって異なるため、ほ場での発生状況をよく確認してください。
- 2) 施設では、ハウスパイプや換気口周辺などの資材にも産卵します。その場合、孵化幼虫は比較的広い範囲に落下、分散するため、発生の確認が遅れることがあるので注意してください。
- 3) 薬剤防除の防除適期は若齢幼虫期です。老齢幼虫に対する防除効果は劣ることがあります。
- 4) 薬剤防除するときは葉裏にかかるよう、丁寧に散布してください。
- 5) 施設内に成虫が侵入できないように、防虫ネットを張るなどの対策をとってください。
- 6) ハスモンヨトウ以外のチョウ目害虫の発生についても注意をしてください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。